

<p>七日一五一四 ラバウル地方 海軍運輸部長</p>	<p>八日 〇七〇〇 海軍省運輸部長 (佐世保護衛府署 課長)</p>	<p>後附 〇七一五一 出番電 一月三十日 〇七〇〇 信電令作第四二號ニ依リ 「ラバウル」一機「ヨロシバンガラ」ニ同フ 艦中三十一日一六〇五敵二〇機ト父戰直撃 彈被後、魚雷一發ヲ受ケ速轉不能トナル 敵艦曳航ヲ試ムタルモ成功トスニ二五五救 線</p>
	<p>「Xム、ヨリキ」號 (UPGS) 「汽機」 (UPGS) 「モリヨ」號 (UOGB) (二月十二日乃至十三日) 「ワラジオストツク同ケ」チスナ」號 (U OGX) 「エム、ヨリキ」號 (UVG I) (油價機) 「オチワリ」號 (UC XII) 「タシケント」號 (UOXU) (二月十二日乃至十四日)</p>	

海 軍 三 二

<p>七日一五三八 大海第一部長 府各鎮守府各艦隊各隊 長各艦隊長</p>	<p>助ノ見込ナク北緯七度四八分東經一五六度 四九分ニ於テ護衛指揮官ノ命ニ依リ護衛艦 ニ移乗ヲ命セラレ一ラバウルニ歸夜通信 局長重傷俟死亡上地兵長、加藤航夫重傷、 船體ハ其ノ後沈没ヒルモノノ如シ</p> <p>無</p>
<p>機密第〇七一三三八番電 二月中下旬帝國海軍戰時編制中左ノ編改定 トラルルニトニ手續中</p> <p>二十日附</p> <p>(イ) 第三十二勦強隊ヲ編成シ第五艦隊ニ附 屬ス</p> <p>(ロ) 偵察第五特別陸戰隊及第十五救急隊ヲ 解散ス</p> <p>二十五日附</p> <p>(ハ) 大海機密第二一一七〇三番電ニ依ルモ 無</p>	<p>無</p>

海軍

(四) 第二號哨戒艇及第一〇一號哨戒艇ヲ偵察
 預備隊ニ、第三十一號哨戒艇、
 第三十四號哨戒艇及第四十六號哨戒艇
 ヲ吳防備隊ニ、第三十六號哨戒艇、
 第三十八號哨戒艇及第三十九號哨戒艇
 ヲ佐世保防備隊ニ、天々編入ス
 (五) 尾上丸ヲ特設運送艦ニ、山崎丸ヲ特設
 工作艦ニ改メ山崎丸ヲ吳鎮守隊ニ、那
 智丸(特設)ヲ大阪警備府部隊ニ編入
 第二號松榮丸ヲ戰時編制ヨリ廢シ
 (六) 有馬丸(特選甲給油)ヲ海軍省ニ配屬
 ス
 (七) 第三團南丸、浦珠丸、塚尾川丸及吉野
 丸ヲ夫々特選甲給油ニ改ム
 吳鎮守第七特別陸戰隊ヲ編成シ偵察部隊
 編

海軍第三團

ニ編入ス	共二十日附	(イ) 第三十一特別機隊地隊ヲ解散シ第三十一警備隊(新編成)木曾丸、阿蘇丸及第三十一連備隊ヲ第三南遠機隊ニ附屬ス (ロ) 第十四及第十五防空隊ヲ編成南東方面機隊ニ編入ス (ハ) 押盛丸(特選乙船種)ヲ補給部隊(横濱)ニ編入ス (ニ) 佐鎮第七特別陸戰隊ヲ南東方面機隊ニ附屬ス	無
第十一機指海警務隊ヲ偵察偵防機隊ニ編入ス	共二十四日附	(イ) 佐鎮第七特別陸戰隊ヲ南東方面機隊ニ附屬ス	無
共二十五日附			

海 軍 五

八日〇八一〇 佐世保海軍防衛隊 指揮官	八日 一一〇〇 大島防衛隊司令 平島 藤島台隊長 佐世保海軍防衛隊 隊長 佐世保防衛 隊司令	機密第〇八〇八一〇番電 電合作第一二號 平島ハ三月十二日奄美大島ニ向ケ佐世保 隊分ノ開作戦ニ關シ大島防衛隊司令ノ 指揮ヲ承クベシ	六二十八日附 大海第一機密第一四九號ノ二時 〇八〇八一〇番電 一八〇潜水艦ヲ以テ第二十二潜水艦ヲ 編成ス 二四〇潜水艦ヲ吳潜水艦隊ニ編 入ス 〇八〇潜水艦ヲ以テ第二十二潜水艦ヲ 編成ス 一八〇潜水艦ヲ以テ第二十二潜水艦ヲ 編成ス 二四〇潜水艦ヲ吳潜水艦隊ニ編 入ス 〇八〇潜水艦ヲ以テ第二十二潜水艦ヲ 編成ス 二四〇潜水艦ヲ吳潜水艦隊ニ編 入ス
---------------------------	---	--	--

海 軍 三 六

<p>九日一〇五三九日 一一三〇 佐世保留守府佐世保助衛隊</p>	<p>機密第〇九一〇五二番電 第二十四號警隊來船ノ朝風丸、興新丸(一)</p>	<p>八日一三一九八日 一九三〇 大海參第一部 佐世保、領根賀者 長 留守府、南西方面 各司令官 海警備府 聯合艦隊司令官 第一海上隊 警備司令官</p>	<p>機密第〇八一三一九番電 第一海上護衛隊兵刃補充ノ爲第二、第三十 六、第三十九號哨艇ヲ二月二十日附一時 南西方面艦隊司令官官ノ作戦指揮下ニ入ラ シメラルル 決定</p>	<p>久米島ノ二〇五度二六度ヲ基點トシ一 六〇度線上北緯二四度線附近近島、 基點ヨリ至四〇度線上北緯二八度線附 近迄第三十八號艦哨艇 (四)期間 九日正午ヨリ十日正午迄 ハ第三十八號哨艇艦長ハ護衛ニ關シ應 為艦長ノ指揮ヲ承クベシ</p>
<p>無</p>	<p>無</p>	<p>無</p>		

海 軍 三 八

<p>九日一五二六 佐世保鎮守府 陸軍</p>	<p>九日 一六一五 佐世保鎮守府 陸軍</p>	<p>一節ノ十二日正午由港「アンボン」行ノ艦 定十日一由三〇打合ヲ行フ 北大東島附近迄護衛敵ノ度護衛艦名知ラザ レ度</p>
<p>九日一五二六 佐世保鎮守府 陸軍</p>	<p>九日 一八二四 神丸 船長 （青島方面特別偵 探隊隊長）</p>	<p>機密第〇九一三一〇番電 實機密第〇九一〇五二番電返 平島</p>
<p>九日〇九五四 九日 二一一〇</p>	<p>機密第〇九〇九五番電</p>	<p>機密第〇九一五二六番電 敵克一慶（中村機密）長崎ニ入港セリ風風 平次第八艦ニ同航ス 濟州島兄弟島鎗地ニ敵克五隻遊離シアリ為 意</p>

海軍

南西方面艦隊
參謀長

佐世保鎮守府參謀
長、佐世保海軍工廠
長、佐世保海軍
艦船部長

一、兵備整備第一三二七三九九六番電及南西
方面艦隊機密第二〇一五五八八五番電ノ
機帆船ハ速ニ進出ノコトニ取計ハレ度
二、大興丸ノ修繕ハ特急實施ヲ待度

無

九日一八五〇

九日 三二二〇

上海花柳港亭
武官

佐世保鎮守府、海軍
南西方面艦隊、海軍
備府、第一、第二
道文館、各參謀長
上海方面特別機
密班、隊司令官

機密第一〇九一八五〇番電

在又敵艦軍情報綜合

一、英部隊ハ總テ「ビルマ」ヨリ退却セリ蓋
地員ニシテ飛行機隊ヲ有ヒサルコト確實
ナリ近ク該人員ハ退却地ニ據退ノ見込
ナリ

無

無

一、重慶空軍部隊ハ依然トシテ活動消滅的ニ
シテ大舉出撃等ノ徴候ハ今ノ處皆無ナリ
二、米空軍部隊ニ關シテハ一月中旬頃迄ノ根
本的改組アリシ結果（海陸軍共濟）ニ努
メタルモ未ダ成功トス（詳細判明ヒサル

無

海軍

「カシロストロイ」艦(UOBG)「カ
 ▲チアトカ」艦(UOEI)「トボル」
 艦(不明)「オロチン」艦(UOVM)
 「チアヴィテロ」艦(UFKN)
 (二月十四日乃至十六日)
 マウラジオストツタ同ケ
 「ノギン」艦(不明)「ツトラヤ、ピチ
 レトカ」艦(不明)
 (二月十五日)
 「ウツベキスタン」艦(UVBY)「チ
 オネロフスキイ」艦(UPOE)「エス
 キロツ」艦(UOBM)「ヤキマ、アタ
 艦(UFII)「ス、オクスママロ」艦
 UVLV)
 (二月十六日乃至十八日)
 「アラヴァ」艦(UOAV)

終

續

海

軍
四二

<p>十日一七〇〇 佐世保鎮守府 海軍</p>	<p>十日一七〇〇 佐世保鎮守府 海軍</p>	<p>十日一七〇〇 佐世保鎮守府 海軍</p>
<p>十日 二〇五五 大島防備隊司令官 佐世保海軍航空隊 沖繩海軍航空隊 海軍</p>	<p>十日 二〇五五 大島防備隊司令官 佐世保海軍航空隊 沖繩海軍航空隊 海軍</p>	<p>十日 二〇五五 大島防備隊司令官 佐世保海軍航空隊 沖繩海軍航空隊 海軍</p>
<p>機雷第一〇一七〇番電 朝風丸、與新丸（連力一）行動隊定 十三日一六〇〇番界島十四日一二〇〇東經 無</p>	<p>機雷第一〇一七〇番電 朝風丸、與新丸（第二十四設營隊乗船運 力一）一〇一七〇〇佐世保機二十 一日朝「アンボン」艦ノ隊定 佐世保防備隊司令官ハ艦艇、飛行機ヲ 派遣シ北緯二四度線附近迄直接護衛ニ任 ゼシトス 佐世保海軍航空隊司令官ハ飛行機ヲ以テ石 渡橋ニ協力ス 無</p>	<p>機雷第一〇一七〇番電 朝風丸、與新丸（第二十四設營隊乗船運 力一）一〇一七〇〇佐世保機二十 一日朝「アンボン」艦ノ隊定 佐世保防備隊司令官ハ艦艇、飛行機ヲ 派遣シ北緯二四度線附近迄直接護衛ニ任 ゼシトス 佐世保海軍航空隊司令官ハ飛行機ヲ以テ石 渡橋ニ協力ス 無</p>

海軍

(二月二十日)

<p>十月一日 午後六時</p>	<p>機密第一一〇七四五番電</p>	<p>線無</p>
<p>十月一日 〇九一〇 海軍大臣 佐世保鎮守府司令官 長官 (聯合艦隊、南東方面艦隊、第二南遣艦隊、各司令官、特別機隊、第二十二司令官)</p>	<p>機密第一〇一六四六番電 佐世保海軍工廠ラシテ至急「ハリソクハハ」ニ四十四口径十二種七高角砲二基、「一五〇」種探照燈一基ヲ基幹トスル動盪砲臺二箇所ヲ第二十二特別機隊司令部官所定ノ位置ニ新設セシムベシ 工事所長兵衛等ノ詳細ニ關シテハ海軍艦隊本部長ツシテ直接所長ノ岡ニ連絡セシム 費目ハカ(ワタ)リ三(電)(電)(電)(光) 別添配付録算内交辦</p>	<p>線無</p>
<p>第二十四特別機隊 隊、第三十二特別機隊、各々 (英領守府參謀)</p>	<p>一二九度北緯二五度十七日一二〇〇マラツ カ海峽北口二十一日〇八〇〇アンホン着</p>	<p>線無</p>

海軍第四

<p>十一日 一三五五 佐世保海軍航 隊指揮官 派遣</p>	<p>十一日 一七二三 大島防備隊司令 佐世保海軍航 隊指揮官 佐世保 海軍航隊司令</p>	<p>十一日 一四〇〇 佐世保海軍航 隊司令</p>	<p>十一日 一七一五 佐世保護守府參謀 佐世保護守府海 防部長</p>	<p>機密第一一四〇番電 水上偵察機二機ヲ以テ二、三哨敷線ヲ哨敷 敵ヲ見ヌ視界五乃至二〇哩一七一七六〇 〇〇噸敵艦三隻北緯三三度〇分東經一二 八度五〇分針路二三〇度磁刀一二節ヲ送ム 〇八一〇發進一二一〇噸着</p>	<p>八三〇歸着 一六二〇敵艦ノ位置東緯一二五 度〇五分北緯二七度五五分速力一四節視界 一〇乃至二〇斤</p>
<p>機密第一一三三五番電 艦隊二機ヲ以テ飛行哨敷敵ヲ見ヌ加能丸及 盛運丸航路哨敷〇八一五發進一一四五節着 一一二〇那覇ノ一〇五度三〇分進ニ備進武裝 各艦四〇〇噸敵一隻ヲ發見針路二四〇度</p>	<p>機密第一一三三五番電 艦隊二機ヲ以テ飛行哨敷敵ヲ見ヌ加能丸及 盛運丸航路哨敷〇八一五發進一一四五節着 一一二〇那覇ノ一〇五度三〇分進ニ備進武裝 各艦四〇〇噸敵一隻ヲ發見針路二四〇度</p>	<p>機密第一一三三五番電 艦隊二機ヲ以テ飛行哨敷敵ヲ見ヌ加能丸及 盛運丸航路哨敷〇八一五發進一一四五節着 一一二〇那覇ノ一〇五度三〇分進ニ備進武裝 各艦四〇〇噸敵一隻ヲ發見針路二四〇度</p>			

海軍 第四六

		十一日 佐世保留守府 司令官	
		艦密佐世保留守府命令第五四號 佐世保留守府命令 佐世保防備戰隊、佐世保海軍航空隊第二回 聯合教練ヲ左ノ通定ム 二期日、場所 二月二十三日 五島南東方海面 指揮官 佐世保防備戰隊司令官 與 副	
乙車	甲車	區分	指揮官
高津丸船長 高津丸	飛行機隊指揮官 水偵 二機	佐世保留守府司令官所定	兵 刀
			無

海軍

第四五第六各艦隊
第四方面艦隊
第二南遣艦隊
司令長官

題ノ件左記ニ依リ施行セシムベシ

一、目的

英式二號別出機五型及五型改一ノ性能ヲ
左ノ趣向上セシムルヲメ各部ノ機件ヲ改
造スルニ在リ

(1) 別出シ得ル最大飛行機重量

四、五〇〇斤

(2) 別出機最大加速度三、五Gニテ

三〇米ノ秒

二、改造要領

航強技術廠圖面目錄番號第三六八ニ依ル
モノトシ改造ニ要スル部材ハ一插航強技
術廠ニ於テ製作ノ上各航強廠ニ送付スル
モノトス

三、改造スベキ別出機及改造工場施行廠

海軍省

										改修 施行工					
										兵務製造 省					
										供用先					
										改修 施行工					
										兵務製造 省					
										供用先					
十第	航五四號	航八四號	航三二號	航七七號	航五九號	航七八號	航五二號	航七四號	航四七號	航四八號	航三五〇號	航三三號	航三一號	青島	兵務製造省
	島	青島	横濱第二造船廠	淡路丸	津丸	香川丸	香取丸	愛宕	高雄	武藏	長門	國興	國興	兵務製造省	
														供用先	
二第	航二〇號	航六〇號	航一七八號	航一五〇號	航五五號	航五八號	航五八號	航九〇號	航八六號	航七一號	航七九號	航五〇號	航三七號	日守	兵務製造省
	日守	日守	鹿野	鹿野	大和	扶桑	扶桑	同右	同右	同右	同右	同右	同右	兵務製造省	
														供用先	
														文	

海軍 第五一

十二日
佐世保鎮守府
司令長官

以完成期日

時機ヲ得次第成ルベク速ニ完成スルモノトス

五費目

臨時軍事費 臨時軍事費 造船遣兵及修
理費 遣修費(空技)別途配付豫算内支
辨トス

機務佐世保鎮守府命令第五八號

佐世保鎮守府命令

佐世保海軍航空隊司令ハ左ニ依リ航本機密

第一七八一號ノ空機密ヲ實施スベシ

一 空機密區分

0二一ノ二

二 實施要領

左ノ外司令ノ定ムルトヨロニ依ル

又

密

又

機

海

軍
五三

<p>十三日一九〇三 佐世保海軍航 空隊沖繩派遣</p>	<p>十三日 二五五〇 大島勸修隊司令</p>	<p>十三日一二四八 能登呂艦長</p>	<p>十三日 一六二五 佐世保鎮守府參謀 海軍運輸部長</p>	<p>機密第一三一九〇三番電 機密三機ヲ以テ飛行哨戒實施敵ヲ見ス午間</p>	<p>機密第一二一九五五番電 水偵二機ヲ以テ朝風丸、興新丸航路哨戒（ 二〇〇機）ヲ實施敵ヲ見ス觀界一〇乃並二 〇機一三五〇三〇〇乃並五〇〇〇機敵 艦三隻野母崎ノ二四五度一〇機針路一三 五度速力一二節ヲ認ム 一三五五機過一七二〇離着</p>	<p>機密第一三一二四八番電 本艦偵傷状況及ニ修補方針等ハ第一〇一工 作部機密第一二一六〇六番電参照アリ 工學隊定ハ四月下旬入渠五月末出渠六月十 五日完成ノ見込</p>
<p>十三日一九〇五 佐世保海軍航 空隊司令</p>	<p>十三日 〇七一〇 佐世保鎮守府參謀 長</p>	<p>機密第一三一二四八番電 本艦偵傷状況及ニ修補方針等ハ第一〇一工 作部機密第一二一六〇六番電参照アリ 工學隊定ハ四月下旬入渠五月末出渠六月十 五日完成ノ見込</p>				

海軍

長		保		方	
面方		面		五	
七	七	六	六	五	五
七 /	七 2	六 /	六 2	五 /	五 2
第一嶺 三〇〇米	伊王島嶺 三三〇米	第一嶺 三〇〇米	大嶺 (△) 三〇〇米	第一嶺 三〇〇米	大嶺 (△) 三〇〇米
二五度	二五度	二九度	二九度	二九度	二九度
三〇八〇	三〇八〇	三五六〇	三五六〇	三五六〇	三五六〇
製	製	製	製	製	製
式	式	式	式	式	式
二七	二七	五八	五八	五八	五八
三〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇
三二	一三	三二	一三	三二	一三
八〇	八〇	八〇	八〇	八〇	八〇
六六	六六	七五	七六	六五	六五
三二	三九	七六	二四	三三	三四
泥	砂	泥	砂	泥	砂

海 軍 五 八

十三日二五五
聯合艦隊司令
長官

十四日〇六三五
聯合艦隊司令
長官

海軍大臣、佐世保令
總司令、鎮海令
副司令、鎮海令
備府司令、鎮海令

電令作第四八四號

一、内號艦送部隊中相良丸、敵敵丸、樂川丸、新原丸、靜山丸、浮島丸、靖國丸、新玉丸、愛國丸、清澄丸ハ夫々規程送中ノ陸軍部隊隨從内號艦送部隊指揮官所定ノ時機ヲ以テ逐次輸送部隊ヨリ順中間時機ヲ以テ

(1) 相良丸、敵敵丸、樂川丸、新原丸、靜山丸ニ對スル本隊ノ指揮ヲ解ク

(2) 浮島丸、靖國丸、新玉丸ヲ原隊ニ復帰ス

(3) 愛國丸、清澄丸ハ附屬部隊ニ編入シ海軍省艦隊ニ歸刀第九、第十、第十一、第十二等艦隊艦艇ヲ機關艦ニ編入ス

中隊丸及第十五、第十六等艦隊艦艇ヲ

概

概

海軍

<p>十二日一六〇一 海軍省軍務局</p>	<p>十四日 〇八五五</p>	<p>各鎮守府、大、各艦隊、各備、 大、各艦隊、各備、 府、各艦隊、各備、 令、各艦隊、各備、 馬、各艦隊、各備、 司、各艦隊、各備、</p>	<p>機密第一三一六〇一番電 左ノ通ソ聯船（期日）對馬海峡過航ノ決定 ワラジオストツク</p>	<p>南西部隊ニ輸入ス 南東方面部隊指揮官ハ前項各艦船ノ「ワ エワツ」ハ「ハラオ」又ハ「トラツク」間 渡衛ニ任スベシ</p>
<p>至十八日（ 「ワラジオストツク」同</p>	<p>「ロツキナキ」號（UO I Y）「オラ」 號（UO I W）（二月十五日乃至十六日） 「キンギセツフ」號（UO C M）「ハス ロフスク」號（UO I A）「タラ」號（U O Y D）「スホナ」號（U P C W）「ア ルグエ」號（U P O E）（二月十七日乃 至十八日）</p>	<p>無</p>		

海軍省

長官

十五日一五四 十五日 一七一六
任世保 守府 南四方 艦隊 參謀
長

馬公 艦隊 參謀 長
合編 艦隊 參謀 長
海軍 省 艦隊 參謀 長
第十 二 艦隊 參謀 長
第十一 艦隊 參謀 長
第十二 艦隊 參謀 長
第十三 艦隊 參謀 長
第十四 艦隊 參謀 長
第十五 艦隊 參謀 長
第十六 艦隊 參謀 長
第十七 艦隊 參謀 長
第十八 艦隊 參謀 長
第十九 艦隊 參謀 長
第二十 艦隊 參謀 長

第〇七一三三八番電第二項（二月十五日附
但シ左改正）ノ趣以定ヒラル
第十四 艦隊 參謀 班ヲ第四 艦隊ニ、第十五 艦
隊 參謀 班ヲ南四方 艦隊ニ配屬ノコトニ改

俄密第一五一三三四番電

貴機密第〇九〇九五四番電轉聯

一、第三 演習丸、さつき丸（マノクワリ行）

第十 和丸、演習丸（アソボン行）第五 成

華丸、第十一 長盛丸、第五 石座丸（スラ

バヤ行）十五日一二〇〇任世保發馬公「ダ

バオ」繼由夫々任地回航ノ際定

一、第十八 大蘭丸（機關修理中）新進丸、第

一 壽山丸（未發艦）準備出來次第（二十

五日頃ノ見込）「スラバヤ」ニ向ケ任世

機

機

機

機

海 軍 六 三

0600

十五日一五三〇 十五日 一九三五
佐世保海軍航佐世保頭守府海謀
艦隊司令 長

佐世保頭守府海
面防備部隊指揮
官

十五日一八四五 十五日 二二〇〇
佐世保海軍航大島防備隊司令

保發ノ隊定

機雷第一五一五三〇番電
水偵二機ヲ以テ三、四哨敷練ツ哨戒「ソ」
柳商船計四隻ヲ認ム
四〇〇〇噸級各一隻〇九四〇草垣島ノ二九
二度三五五噸及一〇〇五草垣島ノ二七五度二
〇連共ニ針路一五〇度速力一二節、五〇〇
〇噸級一隻一〇〇〇女島ノ二五〇度二〇〇
航行不能信船掃動源洩ス、八〇〇〇噸級一
隻一二一〇女島ノ二五〇度一〇〇連針路一四
〇度速力一二節其ノ他敵ヲ見ス視界二〇一
三〇連

機雷第一五一八四五番電

無 線 無 線

海 軍 六 四

陸軍部
陸軍省
陸軍大臣
陸軍少将

佐世保留守府
佐世保留守
佐世保副留守
佐世保司令官
佐世保航空隊
佐世保海軍航空隊

十日

海軍大臣

十五日

海軍大臣
海軍省
海軍大臣
海軍少将
海軍司令官
海軍航空隊
海軍海軍航空隊

海軍省
海軍大臣
海軍少将
海軍司令官
海軍航空隊
海軍海軍航空隊

艦上攻撃機三機ヲ以テ〇八一五ヨリ一八一
〇迄内航線通過部隊第四機団送隊ノ航路哨敷實
施敵ヲ見ス
北緯二七度三〇分ヨリ北緯二四度線ニ且ル
隊定航路航路上全敵的ニ掃蕩アリ航界五乃
至二〇杆、艦隊ヲ復見シ得ス

官房機密第六五二號

特別根據地隊用兵器供給ノ件
訓令

所屬海軍軍需部ヲシテ別紙兵器ヲ第九特別
根據地隊、第十二特別根據地隊（内令第五
十八號臨時員用）ニ供給トシムベシ
（別紙）

兵器名	数量	備置場所	備考
一式輕機銃	四	附屬品共進	
九〇式輕機銃	六	附屬品共進	

海軍省
軍六五

同	彈藥包	同	一八〇〇〇	一八〇〇〇	總衛長
九九式小銃	附屬品共	同	九〇	一六〇	總衛長
同	彈藥包	同	九〇〇〇	一六〇〇〇	總衛長
一舊型拳銃	附屬品共	同	三	三	同
同	彈藥包	同	一八〇	三〇〇	同
三八式小銃銃劍帶共	同	同	三〇	五〇	同
鐵兜	三型復共	同	總員分	總員分	同
九五式三號防毒面	同	同	總員ノ十一割	總員ノ十一割	連用長
總防毒衣	總員分	同	總員分	總員分	連用長
喇叭	總共	同	五	一〇	同
七倍望遠鏡及眼鏡	同	同	三	三	同
望遠鏡及眼鏡一型	同	同	三	六	同

海軍 第六

8600

<p>十五日 佐世保鎮守府</p>	<p>十五日 佐世保鎮守府 司令長官</p>
<p>佐世保鎮守府 第二安 書</p>	<p>機密 佐世保鎮守府命令第五五號 佐世保鎮守府命令 一 佐世保第三師兵團（假稱）設立準備ノ爲 本府ニ委員會ヲ置キ委員長及委員ヲ別表 ノ如ク指定ス 二 委員長ハ委員ヲ管シ第一號ノ設立準備ニ 從學シ毎月開（特ニ要スル場合ハ其ノ都 度）之ヲ進捗ノ情況其ノ他所要事項ヲ報 告スベシ 三 部下各部ノ長ハ委員長ノ協議ニ應ジ便宜 ヲ供與スベシ (別表略)</p>
<p>文書</p>	<p>文書</p>

海軍 第六七

		佐鎮機密第二〇一號ノ二〇ノ二ニ依ル	
		第二記載ノ人員ヲ收容スルニ在リ	
		第六防室指揮所待避至收容人員	
		又	
		所屬 待避 記	
銀守府	八〇	一、待避員ノ區分ハ各縣ニテ定メ 區々モノトス	
人學部	一一五	二、各縣毎ニ一〇〇名ニ就キ一名 ノ待避指導員ヲ附スルモノト ス	
經理部	三五〇		
總務部	一五		
總務部	四二〇	三、待避指導員ハ待避ノ始終ヲ防 避指揮所長ニ連絡スルモノトス	
合計	八八〇		
備考	待避直副官使用ノ重要書類ニシテ絕對 執行ノ要アルモノニ限り小處拂行スル モノトシテ		
第三、待避要領			
一、要領 各縣長ノ指示ニ依ル			
二、出入人口使用區分			

海 軍 六 八

出入口	使用	區分	記
東口	建築部		警ニ待避順序 及男女別ヲ定 メス
西口	湘上官以上、高等文官、 鎮守府、艦隊部、經理部		
北口	人事課、建築部ノ一部		

其待避區使用區分、出入法別圖ノ通
 (待避時機ニ依リ男女員數一定トサ
 ルニ付使用區分ハ其ノ標準ヲ示ス)
 其待避ニ際シテハ進ニ入警收容時間ノ
 短縮ヲ第一義トシ人員ノ整理ハ收容
 後行ヲモトス
 其待避隊形ハ人口附近ヲ二列トシ其ノ
 他ハ適宜トス
 其待避指導員ハ左ノ事項ヲ處理ス
 一 待避者ノ指導、監督
 二 狀況ニ依リ待避者ノ制限又ハ編切

海

軍
六九

其恩者ノ處理

其外賊匪ノ閉鎖

其其ノ他待避處ヲニ關スル事項

第五 待避員心得

一 待ニ冷靜沈着靜慮ニシテ秩序整然タルト共ニ待避指導員ノ指示ニ従フモノトス

二 出人ハ直覺ニテ行フベシ而シテ人望ハ異(中央)ヨリ酷メ出人望ハ出人

口附近ヨリ順次行動スベシ

三 命令等聽令ニ出直スルト共ニ之ヲ傳達ヲ容易ナラシムベシ

四 動盪指揮所ノ業務ヲ妨ゲザルヲ要ス其多數人員集合混雜ノ中ニ在リテモ常ニ機微ヲ察シタスベシ

五 恩者ハ長椅子上ニ在リテ他人ノ行動ヲ

文

<p>十五日</p> <p>佐世保留守府各 長</p>	<p>防ゲサルヲ要ス</p> <p>大興狀ヲ認メタル場合ハ速ニ之ヲ防盜</p> <p>指揮所長ニ通報スルモノトス</p> <p>第六條 件</p> <p>一 待避中ハ給排氣ノ運轉ヲ續行スルヲ</p> <p>例トス</p> <p>二 待避開始前指揮室ノ電屏ヲ閉鎖ス</p> <p>(別圖略)</p>
<p>佐世保留守府各 長</p>	<p>佐世保密第一二〇號ノ八ノ二</p> <p>私用郵便電價収納ニ關スル件</p> <p>申進</p> <p>本府各艦ニ於ケル首艦取寄ニ關シテハ既ニ</p> <p>本府防務規程ニ基キ各艦内規及昭和十六年</p> <p>佐世保密第一二〇五〇號内號ノ二準進ノ共領</p> <p>ニ依リ處理シ其ノ徹底ヲ期ヒラレヲルコト</p>

海

軍七一

8600

										<p>ト忠考致候處今同別紙ノ道違反者處分標準ヲ定メラレ候條之ニ依リ一層取締ヲ嚴重ナラシメ防禦上遺憾ナキヲ期ヒラレ度 (別紙)</p> <p>佐世保鎮守府郵便電信取締 違反者處分標準</p>	
分區	機密程度	機密程度	機密程度	機密程度	機密程度	機密程度	機密程度	機密程度	機密程度	機密程度	機密程度
一 (未機密)	二 (機密以下)	三 (機密)	四 (機密)	五 (機密)	六 (機密)	七 (機密)	八 (機密)	九 (機密)	十 (機密)	十一 (機密)	十二 (機密)
初	初	初	初	初	初	初	初	初	初	初	初
二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三
四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四
五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五
六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六
七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七
八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八
九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九
十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十
十一	十一	十一	十一	十一	十一	十一	十一	十一	十一	十一	十一
十二	十二	十二	十二	十二	十二	十二	十二	十二	十二	十二	十二

海軍 七三

<p>十六日一九〇五 第一掃海隊司令</p>	<p>十六日 二三〇〇 佐世保鎮守府海軍 防備隊指揮官 佐世保鎮守府參 謀長</p>	<p>機密第一六一九〇五番電 女島燈臺ノ二九六度一一度ニ於テ「ソ」機 汽船AMU瓦機(一九三一噸)ヲ調査釋放 セリ 同船ハ佐海防機密第一六〇九四五番電ノ副 船ニハ非サルモノ如シ</p>	<p>十六日 佐世保鎮守府 首席參謀</p>	<p>關係各職長</p>	<p>佐鎮機密第九〇二號ノ一二 「ソ」機密ハ軍務機密第三〇一七三七番電 連對馬海峡及九州西岸ノ通航ヲ容認セラレ アル處石船船ニ對シテハ軍務機密第三一〇 七四九番電應臨機ノコトニ本領ヲ待度</p>
<p>十六日一七二七 大海參第一師</p>	<p>十七日 〇六四〇 第九戰隊司令官</p>	<p>機密第一六一七一七番電 第九戰隊機密第一四一七一三番電聯</p>			<p>機無 番</p>

海 軍 七 四

<p>十七日 一五三五 佐世保海軍航 空隊司令</p>	<p>十六日 一九〇 内務省 指揮官</p>	<p>長</p>
<p>十七日 二〇四〇 佐世保留守府参謀 長 (佐世保留守府海)</p>	<p>十七日 〇九五五 内務省 佐世保留守府 合艦隊司令官 八島海軍第六 方海軍司令官 長 海軍司令官 大本営海軍部 長</p>	<p>佐世保留守府 第四艦隊司令官 長 護衛隊司令官 上</p>
<p>機密第一七一五三五管電 水偵二機ヲ以テ五、四哨取機ヲ哨取一七一 〇一ソ一聯函船(二〇〇〇)艦隊(一機取退</p>	<p>機密第一六一九二〇管電 電令作第一三號 聯合艦隊電令作第四八四號第一項所定ノ艦 船ヲ内務省送郵隊ヨリ陸夕時機ヲ左ノ如定 ム 一清澄丸、愛國丸等令ナケレバ内務省送金 郵完了ノ時機(二十七日ノ見込) 一右以外ノ艦船當該艦隊出陣完了ノ時機</p>	<p>新原丸及浮島丸ハ三月十五日附天々第二十 二戰隊及第一艦隊艦隊ニ編入決定ニ付所屬 軍船ニ歸被準節ニ着手セシメラレ度</p>
<p>無</p>	<p>無</p>	<p>無</p>

海軍 第七五

		十七日 佐世保鎮守府 司令長官		國防備隊指揮官	
		機密使佐世保鎮守府命令第六一號 昭和十八年三月廿二日於ケル各部訓練作業ニ 關スル飛行機ノ協力ニ關シ左ノ規定ム		島ノ二四五度一〇度針路一六〇度迄力一〇 節其ノ他敵艦ノモヲ避メス一三三〇八 〇〇〇噸級艦艇二隻大瀬崎ノ一六四度四 六度針路一四五度迄力一二節ヲ認ム視界五 一五海里草垣島附近降雨	
二 (金) 午	一 (火) 前	練習 (日) 時 間	飛行機 飛出機分	佐世保 空 線 實地訓練 (對空)ノ教 習	實地訓練 實地訓練 實地訓練 實地訓練
二 (金) 午	一 (火) 前	電波探信機 探信教練	飛行機 飛出機分	佐世保 空 線 實地訓練 (對空)ノ教 習	實地訓練 實地訓練 實地訓練 實地訓練

海軍第七六

五	四	三	二	一	〇	九	八	〇三〇
月八	金二	木一	金九	月二	金二	月九	月九	〇三〇
夜	午	午	午	午	夜	夜	夜	〇三〇
佐管隊照射	佐管隊湖的	第二回見張(對空)	聯合教育	第一回見張(對空)	佐管隊湖的	第二回見張(對空)	第一回見張(對空)	〇三〇
照射	湖的	教育	親	親	照射	湖的	第一回見張(對空)	〇三〇
照射	湖的	教育	親	親	照射	湖的	第一回見張(對空)	〇三〇
照射	湖的	教育	親	親	照射	湖的	第一回見張(對空)	〇三〇
照射	湖的	教育	親	親	照射	湖的	第一回見張(對空)	〇三〇
照射	湖的	教育	親	親	照射	湖的	第一回見張(對空)	〇三〇
照射	湖的	教育	親	親	照射	湖的	第一回見張(對空)	〇三〇
照射	湖的	教育	親	親	照射	湖的	第一回見張(對空)	〇三〇

海軍七七

0104

<p>十七日 佐世保鎮守府 參謀長</p>	<p>久留米、佐世保、 島根隊長、 編隊</p>	<p>佐世保警第一二一號ノ七ノ二 防務指置ノ件通牒</p>	<p>文</p>
<p>十七日 佐世保鎮守府門司鐵道局長 參謀長</p>	<p></p>	<p>佐世保警第一二一號ノ七 防務指置ノ件通牒 軍事上必要ニ付爾今當分ノ關伊萬里線浦ノ 崎平戸口間ニ於テ列軍内ヨリ海軍方向ヲ展 望シ得サル如ク措置相成度 兩列軍以外ノ場所ニ於テモ可及的伊萬里灣 所在船組ヲ監視シ得サル如ク施策ヲ取計ラ 得度</p>	<p>文</p>
<p></p>	<p></p>	<p>備考 天候其ノ他ノ情況ニ依リ日時ヲ變更スルコトヲ得 二(水) 長崎高村監 一(火) 長崎高村監 三(水) 長崎高村監</p>	<p>文</p>

海 軍七八

<p>十七日 一五三六 内閣總務部 指揮官</p>	<p>十八日 一五三〇 新原丸、浮島丸各 砲艦長</p>	<p>機密第一七一五三六番電 新原丸、浮島丸ハ搭載陸軍ノ「ウエワク」 機密完了セバ大海機密第一六一七一七番電 ニ應スル如ク行動スベシ</p>
<p>十八日 一五〇七 佐世保海軍航 空隊司令</p>	<p>十八日 一五三〇 佐世保鎮守府參謀 長</p>	<p>機密第一八一五〇七番電 本機二機ヲ以テ二、三哨敵機ヲ撃破一〇〇 〇女島ノ一八八度二〇温エ「ソ」機砲船ハ 四〇〇〇噸級ノ一隻針路五四〇度速力八節 一一〇山向後崎ノ二四三度一九七温ニ機砲 不明ノ大型敵艦一隻針路五〇度ヲ認ム其ノ</p>
<p>長崎、佐賀各縣知 事、長崎佐賀長 府本通信局長</p>	<p>機密第一八一五〇七番電 佐世保鎮守府海 防司令部指揮 官</p>	<p>機密第一八一五〇七番電 佐世保鎮守府海 防司令部指揮 官</p>

海軍七九

9070

<p>十八日 佐世保鎮守府 司令長官</p>		<p>他敵艦ノモノヲ認メズ視界五乃至一〇浬〇艦 九〇〇發進一三四五號着</p>
		<p>機密佐世保鎮守府命令第六三號 昭慶丸船長ニ指示 昭慶丸ハ左ニ依リ人員及軍需品ノ搬送取 ニ補給任務ニ従事スベシ (1) 佐世保艦 二月二十一日準備出来次第 (2) 佐世保着 任務終了次第(概テ三月二 十六日迄) (3) 同 順 香港、三亞、檳榔、高雄、 八幡 三行動ヲ豫定シ報告スベシ 島田兼副鎮守府ニ出頭シ航路ノ指示等ヲ受 クスベシ</p>

<p>十九日一八〇〇 佐世保鎮守府 參謀</p>	<p>十九日 一九二八 佐世保防備隊參謀</p>	<p>機密第一九一八三〇 普電 明日一二〇〇 入港ノ第三戰隊警戒ニ關シ手 配サレシヤ</p> <p>線</p>
<p>十九日二二五〇 佐世保防備隊 隊司令官</p>	<p>十九日 二三五〇 佐世保鎮守府參謀 長</p>	<p>機密第一九二一一五 普電 貴機密第一九一八五〇 普電返 掃海艇一隻ヲ以テ野母崎附近航路上ノ警戒 ヲ行フ外現配備ノ儘同機護衛ノコトニ手配 セリ</p> <p>線</p>
<p>十九日二四二〇 佐世保海軍航 空隊司令官</p>	<p>十九日 一七〇〇 佐世保鎮守府參謀 長 佐世保鎮守府海 軍防備隊指揮官</p>	<p>機密第一九一四一〇 普電 水偵二機ヲ以テ三、四哨艇ヲ哨戒ソシ 機密第一九一四一〇 普電 草垣島ノ二七八度五〇 混、一一五〇 二〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 針路三一五度運力一二節ヲ認ム、其ノ機敵</p> <p>線</p>

海軍八一

	<p>姓ノモノヲ認メズ願掛五ノ一〇准風北一〇 米〇八三五號進一三一五附給</p> <p>無</p>
	<p>軍房第一五八號</p> <p>鎮守府及警備府海外教育班規程左ノ通定ム</p> <p>昭和十八年二月十三日</p> <p>海 軍 大 臣</p> <p>鎮守府及警備府海外教育班規程</p> <p>第一條 當分ノ鎮守府及警備府ニ海外教育班ヲ置ク</p> <p>第二條 海外教育班ハ當該鎮守府又ハ警備府ニ於ケル左ノ事務ヲ掌ル</p> <p>一 海外海軍關係員及航空關係員ノ軍事教育ニ關スルコト</p> <p>二 海外諸學校ノ軍事教育ニ關スルコト</p> <p>三 海軍ニ關スル海外教育發展ニ關スル</p> <p>無</p>

コト	四 副各職ノ職務及統計ニ關スルコト 第三條 部外教育班ニ班長、副班長、班員 班附ヲ置ク
鎮守府司令長官又ハ警備府司令長官部下 職員ノ中ヨリ左ノ區分ニ依リ之ヲ命ズ	一 鎮守府部外教育班
班長	人學部長
副班長	人學部第三課長
專務班員	地方海軍人學部長
班員	兵科佐官一人
班員	主務參謀又ハ副官一人
班員	人學部第三課班員
班員	地方海軍人學部班員
班員	實施艦船部隊職員若干人
班員	准士官、下士官、兵適宜
警	

海 軍 八 班